

C V S (Certified Value Specialist) 認定試験

1. 受験資格要件

C V S 認定試験を受験するためには、次の(1) V E 学習経歴、(2) V E 実務経歴、(3) V E 研究論文又は V E 実践論文の執筆・公表、の 3 条件をそれぞれ満たしていなければなりません。「C V S 認定試験受験申請書 (以下「申請書」という)」での書類審査でこれらの条件を満たしていると認められなかった場合は、筆記試験を受けられません。

(1) V E 学習経歴

次の①又は②のいずれかを満たしていること。

- ① 米国 V E 協会が認定しているバリュー・メソドロジー・ファンダメンタルズ (以下「VMF」という) 1 及び 2、又は 72 時間以上の V E ワークショップ・セミナーを受講・修了していること。
- ② 次のいずれも満たしていること。
 - V E スペシャリスト資格の登録者であること。
 - バリューデザインスクール V E 上級コースの全 3 講座を受講・修了していること (2020 年度までの『V E チームを価値創造集団へと導くファシリテーション講座』は、(2) V E 実務経歴のカテゴリー 3 で申請)。

(2) V E 実務経歴

次のカテゴリー 1~4 の条件をそれぞれ満たしていること。

カテゴリー 1 : V E 実践活動

6 件以上の V E チーム活動 (フォーカス・スタディ) 参加により、その活動時間が合計で 24 点あること【10 時間につき 1 点、端数時間は切上計算】。

6 件のうち 3 件をファシリテーション実践活動として申請し、この活動については 1 件ごとにファシリテーションをした段階として機能定義・機能評価・アイデア発想のいずれか 1 つを他の 2 件と重複しないように取り上げ、申請書に次の通り記載する。

- ファシリテーション実践活動 #1 - 機能定義
- ファシリテーション実践活動 #2 - 機能評価
- ファシリテーション実践活動 #3 - アイデア発想

なお、6 件の活動で活動時間の合計が 24 点に満たない場合は、さらに 4 件まで (計 10 件まで) 追加申請できるものとする。

(注 1) 活動時間とは V E チーム活動の中で V E 実施手順が適用された時間のことをいい、プレ V E での情報収集・個別検討やポスト V E での改善案実施会議はこの活動時間に含めない。ただし、プレ V E 又はポスト V E の時間内でも、チームメンバー全員が参加し、V E 実施手順の一部がファシリテートされた部分は、活動時間とみなすことができる。

(注 2) 1 件につき 2.4 点 (24 時間) 以上必要で、5.6 点 (56 時間) まで申請できる。この時間にはファシリテーションをした時間を含むが、ファシリテーションをした時間数については不問とする。

(提出書類)

- 申請書の様式 3
- 機能分析の実施を示す資料【例：機能一覧表、機能系統図、機能評価シート】
- 当該 V E チーム活動での V E 実施手順 (ジョブプラン) を示す資料
- 当該 V E チーム活動のメンバー一覧 (申請者の役割を明記のこと)

カテゴリー2：VE学習活動

次の①～⑥で、合計30点以上（端数時間は切上計算）

① VEに関する研究会又は勉強会等に参加した場合	1点／10時間
② VEに関する大会・セミナーに参加した場合 ※ 例：VE全国大会、VE関西大会、VE西日本大会等	1点／10時間
③ VEに関する講座、研修会を受講した場合 ※ 前頁の「VE学習経歴」で申請したものは不可	1点／10時間
④ 大学でVEに関する授業を受けた場合	1点／1単位
⑤ 次のいずれかに該当している場合 a. 4年制大学以上を卒業 b. 短期大学又は高等専門学校を卒業後、企業でVE関連業務（原価管理を含む）に2年以上従事 c. 高校を卒業後、企業でVE関連業務（原価管理を含む）に4年以上従事	20点
⑥ 次の国家資格又は博士号を取得し、登録している場合 ※ 技術士、公認会計士、1級建築士、中小企業診断士、弁理士、税理士、弁護士 ※ 上記資格及び学位の中からいずれか1つのみ可	5点

（提出書類）

- 申請書の様式4
- 申請した活動についての証明資料（①～④については、その内容が次の“9つのコア・コンピテンシー”のどれと関連しているかも示すこと）
 - (1) VE
 - (2) 情報の変換
 - (3) ファシリテーション
 - (4) 機能分析
 - (5) 会計（コスト）
 - (6) プレVE段階
 - (7) VEワークショップ段階
 - (8) ポストVE段階
 - (9) VE管理

カテゴリー3：ファシリテーション学習活動

米国VE協会認定の、又は下記の1つ以上を教育目的としているファシリテーション講座の受講・修了で2.4点以上（10時間につき1点）。また、2.4点のうち1.6点以上は、ファシリテーションの演習であることが必要。

- (1) チーム・ダイナミクス（集団力学）を管理する
- (2) チームを動機づける
- (3) コミュニケーション・スキルを表現する
- (4) タイム・マネジメント・スキルを表現する
- (5) 情報を導き出す
- (6) ファシリテーションのコア・プラクティスを思い出す
- (7) チームに目的達成への焦点を当て続けさせる
- (8) チームを合意形成に導く

(提出書類)

- 申請書の様式 5
- 申請した講座についての証明資料（その講座が前頁のどれを“教育目的”しているかも示すこと）

カテゴリ4：VE専門的活動

次の①～④で合計10点以上（端数時間は切上計算）

① VEに関する論文、著書、学位論文等を執筆し、専門家の審査を経て発表又は発行した場合 ※ 同頁下の「VE研究論文又はVE実践論文の執筆・公表」で申請するものは不可 ※ 共著の場合は、比率配分する	6点/1編	
② VEに関する新聞記事・社内報等を執筆し、専門家の審査を経ずに発行した場合 ※ 共著の場合は、比率配分する	2点/1編	
③ VEに関する発表・講演等を公開の場で30分以上行った場合 ※ 社内での発表・講演等は不可	1点/1回	
④ VEに関する非営利法人の社会貢献活動への支援	・申請者本人又は申請者の所属組織（法人・団体又はその事業所・工場等）が会員として、当該法人の社会貢献活動を支援した場合	1点/1年
	・当該法人の社会貢献活動に、リーダー又はメンバーとして直接参画した場合 ※例：震災復興支援活動	1点/5時間
	・支部組織に参画し、当該法人の地域貢献活動を支援した場合 ※例：支部運営委員	4点/1年
	・支部長又は副支部長に就任し、当該法人支部組織の地域貢献活動を支援した場合	8点/1年
	・本部の委員会組織に参画し、当該法人の社会貢献活動を支援した場合 ※例：委員	4点/1年
	・委員長又は副委員長に就任し、当該法人の社会貢献活動を支援した場合	8点/1年
	・役員に就任し、当該法人の社会貢献活動を支援した場合 ※例：理事、監事	10点/1年

(提出書類)

- 申請書の様式 6
- 申請した活動についての証明資料（③については、その内容が前頁の“9つのコア・コンピテンシー”のどれと関連しているかも示すこと）

③ VE研究論文又はVE実践論文の執筆・公表

① 申請者が単独（共著であっても第一執筆者*であれば可）で執筆し、専門家の審査を経て公表した、又は公表予定のVEに関する論文があること。

- ※ 第一執筆者：その論文執筆に主となって取り組み、執筆者の中で最も貢献度が高く、内容について最も大きな責任をもつ者。

- ② 公表論文とは、V E全国大会の発表論文、本会バリュー・エンジニアリング誌掲載の査読論文、学会の審査を経た発表論文、米国V E協会が主催するV E国際大会の発表論文など『審査・認定委員会（資格認定部会）』が認めたもののことをいう。社内での活動事例や社内限定の論文は、公表論文と認められない。

(提出書類)

- 申請書の様式7
- 申請した論文についての証明資料

2. 実施要領 (2021年度)

日 時	【第42回】2021年10月16日(土) 13:30 ~ 16:30 【第43回】2022年 2月 5日(土) 13:30 ~ 16:30												
会 場 (予定)	東京、他【第42回・第43回共通】												
試験方式	記述式 (事前に書類審査があります)【第42回・第43回共通】												
受験料 (税込)	33,000円【第42回・第43回共通】												
受験料以外の 必要料金 (税込)	合格者には、登録料16,500円と、2年おきに再認定料16,500円 (再認定を申請しない場合は不要) を別途納入していただきます。【第42回・第43回共通】												
受験料の納入	【第42回】2021年 9月17日(金)まで 【第43回】2022年 1月 7日(金)まで												
申請受付期間	【第42回】2021年 9月17日(金)まで (消印有効) 【第43回】2022年 1月 7日(金)まで (消印有効)												
申請方法	所定の申請書を電子メール、郵便又は宅配便で本会に提出 (F A Xは不可) 【第42回・第43回共通】												
受験票の送付	発送日: 【第42回】2021年10月 1日(金) (予定) 【第43回】2022年 1月21日(金) (予定) 送付先: 申請者の自宅 (普通郵便、会場案内図同封)												
受験のキャンセル	※ キャンセル料 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>0 円</th> <th>16,500円</th> <th>33,000円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第42回</td> <td>2021年10月13日(水)まで</td> <td>2021年10月14日(木) 及び2021年10月15日(金)</td> <td>2021年10月16日(土)</td> </tr> <tr> <td>第43回</td> <td>2022年 2月 2日(水)まで</td> <td>2022年 2月 3日(木) 及び2022年 2月 4日(金)</td> <td>2022年 2月 5日(土)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 申請者の都合によるキャンセルの場合、受験料返金時の振込手数料は申請者負担とさせていただきます。</p>		0 円	16,500円	33,000円	第42回	2021年10月13日(水)まで	2021年10月14日(木) 及び2021年10月15日(金)	2021年10月16日(土)	第43回	2022年 2月 2日(水)まで	2022年 2月 3日(木) 及び2022年 2月 4日(金)	2022年 2月 5日(土)
	0 円	16,500円	33,000円										
第42回	2021年10月13日(水)まで	2021年10月14日(木) 及び2021年10月15日(金)	2021年10月16日(土)										
第43回	2022年 2月 2日(水)まで	2022年 2月 3日(木) 及び2022年 2月 4日(金)	2022年 2月 5日(土)										
合格基準	100点満点中70点以上【第42回・第43回共通】												
可否通知	【第42回】2021年11月26日(金)までに、文書 (申請者自宅宛て普通郵便) で通知 【第43回】2022年 3月18日(金)までに、文書 (申請者自宅宛て普通郵便) で通知												

※ 申請後、本会担当者から特に連絡がない場合は申請が問題なく受理されたものと理解し、受験票が届くまでお待ちください。

3. 申請要領

(1) 受験料33,000円を、次の銀行口座又は郵便口座に納入してください。振込手数料は、申請者でご負担願います。

● 銀行をご利用の場合

三菱UFJ銀行 駒沢大学駅前支店（普通預金）0394063

口座名義：公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会 こうえきしゃだんほうじんにほん 試験係 きょうかい しけんがかり

● 郵便局をご利用の場合

口座番号：00190-6-536596

加入者名：日本VE協会 試験係

(2) 必要事項をもれなく記入のうえ、所定の申請書を前頁の申請受付期間内に本会事務局へ電子メール、郵便又は宅配便でお送りください。

〒154-0012 東京都世田谷区駒沢1-4-15 真井ビル6階
公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会 事務局
Tel. 03-5430-4488 / E-mail : suzuki@sjve.org

4. 審査、認定・登録、登録更新について

(1) 審査

① 書類審査

受験申請書で行います。

② 筆記試験

上記の書類審査でそれぞれの受験資格要件を満たしていると認められた方を対象に行います。

③ 合否判定

- 本会の『審査・認定委員会（資格認定部会）』が行います。
- 判定結果についての問い合わせには、一切お答えできません。また、判定に関する質問等にもお答えできませんので、あらかじめご了承ください。
- 各人の得点は、公表しておりません。

④ 面接審査

筆記試験の受験者に、必要に応じて行うことがあります。

(2) 認定・登録

- ① 『審査・認定委員会（資格認定部会）』での審査結果にもとづいて米国VE協会で正式に認定された後、日米のVE協会が連名で発行した認定証を交付します。
- ② 申請書への虚偽記載、公表論文での著作権上の抵触、不正受験行為等が認められた場合は、筆記試験の結果に関係なく不合格又は認定取消となります。
- ③ 米国VE協会の倫理要領に反するような行為等が認められた場合には、登録が取り消されることがあります。

(3) 登録更新

- ① 上記の認定・登録は、2年間有効です。再認定・再登録を受けるには、所定の手続きを行う必要があります。
- ② 再認定・再登録の手続きについては、CVS再認定申請要領をご覧ください。

5. 資格取得のための学習（受験資格要件「VE学習経歴」を満たせる講座）

- (1) 米国VE協会からライセンスを受けている日本国内のVMF1及び2

<https://www.sjve.org/certify/cvs/wss>

- (2) 本会が主催している「バリューデザインスクールVE上級コース」

<https://www.sjve.org/semi/school/school-j>

6. 参考図書

● 新・VEの基本

発行：産業能率大学出版部

本会販売価格：2,200円（税込）＋送料

● はじめての企画・開発メソッド ～0 Look / 1st Look VE

発行：同友館

定価：1,980円（税込）＋送料

● VE用語の手引

発行：公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会

定価：1,320円（税込）＋送料

● VEハンドブック普及版

発行：公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会

定価：11,000円（税込）＋送料

会員価格：9,900円（税込）＋送料

以上